

「十勝連携地域政策展開方針(H20～H24)」 に係る地域重点プロジェクトの推進状況の概要

地域のめざす姿
～売り込む・呼び込む・生きる～
高速交通ネットワークで結ばれる道東の拠点「十勝」

「主な施策の展開方向」

- 北海道横断自動車道の開通に向けた地域づくり
- たくましい農林水産業の展開
- 地球環境に配慮した持続的社会の形成
- 地域資源をネットワーク化した観光の振興
- 創造性あふれる産業の推進
- 安全・安心でいきいき暮らせる地域社会の形成
- 暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成

地域重点プロジェクトの推進状況

■とがち「農」ブランドパワーUPプロジェクト 【推進エリア：十勝連携地域】

【主な取組実績】

- YES! clean制度のPRや新たな産地確立に向けた支援の実施（H20～H24）
- 「十勝らしい耕畜連携モデル推進事業」の実施（H20～H21）
- 「十勝産小豆パワーアッププロジェクト（プロジェクトA（アズキ）事業）」の実施（H21～H22）
- 「とがち「農畜産物」ブランドカアップ促進事業（「麦の輪プロジェクト）」の実施（H23～H24）
- 十勝地域農業技術支援会議プロジェクト活動「とがち春まき小麦導入プロジェクト（はるこぼろ）」の実施（H21～H22）
- 「とがち農山漁村交流促進事業」の実施（H21～H22）

【主な成果】

- 「十勝ブランド」や「道産食品登録制度」、「道産食品独自認証制度（きらりっぷ）」の浸透（H24年度末：十勝ブランド120品、道産食品登録制度54品、道産食品独自認証制度5品）
- 生産から消費まで関係者が一体となったアグリビジネスの取組や地産池消の拡大
- 食育や農作業体験等による都市からの交流者の広域受入窓口として、NPO法人が設立

【今後の取組方向（主なもの）】（H25～）

- ①「とがちな「食」ブランド力強化事業（とがち麦★BAKUプロジェクト、とがち畑作エボリューション事業、十勝和牛ブランド確立事業、とがち食の絆促進事業）」の実施
- ②6次産業化のネットワークづくりの推進
- ③「とがちな「食」ブランド力強化事業（とがち食の絆促進事業）」の実施
- ④北のめぐみ愛食レストランの登録推進

①②③④ ⇒ H25からの地域重点プロジェクト：「『食の拠点』とがちプロジェクト」で推進

【地域で考える目標の状況】

項目	H19 (基準年)	H20	H21	H22	H23	H24 (実績)	H24 (目標)
クリーン農業に取り組む生産 集団数(Yes!clean) (集団)	31集団	32	33	32	33	35	45
GAP(農業生産工程管理) 導入産地の割合(%)	22%	30	36	55	77	79	80
地域の認証・登録制度の 認証・登録品目数(品目)	174品目	220	269	290	174	179	300

■「食の王国とかち」観光プロジェクト

【推進エリア：十勝連携地域】

【主な取組実績】							
<p>○「食の王国とかち戦略会議」の開催、ご当地グルメの開発支援（十勝芽室コーン炒飯、十勝おびひろ枝豆サラダ麺、十勝清水牛玉ステーキ丼）、北のめぐみ愛食レストランの登録推進（H20～H24）</p> <p>○ばん馬の観光資源化（ばん馬まつり、オール十勝まんぶくフェスタの開催、「とかちむら」のオープン）、スイーツの観光資源化（お菓子の家づくりスタンプラリー、スイーツめぐり券）（H20～H24）</p> <p>○札幌からの無料バスの運行（十勝川温泉、北十勝4町）、道央圏プロモーションの実施（H20～H24）</p> <p>○「とかち魅力発信推進事業」の実施（H23～H24）</p>							
【主な成果】							
<p>○「食の王国とかち戦略会議」の開催により、各機関が連携した食観光PRが進展</p> <p>○「北のめぐみ愛食レストラン」認定数の増（H24年度末：46店）</p> <p>○上川と十勝を結ぶガーデン街道、冬SPA街道が誕生したほか、胆振・日高・十勝をつなぐ広域ルートづくりが進展</p>							
【今後の取組方向（主なもの）】（H25～）							
<p>①観光資源と「食」を組み合わせた「食観光モデルルート」の磨き上げ</p> <p>②食関連イベントの開催、「北海道チーズ&ワイン街道」の推進</p> <p>③お菓子や道の駅をテーマにしたスタンプラリーの実施</p> <p>④広域観光連携によるルート開発や情報発信</p> <p>⑤「とかちの「食」ブランド強化事業（とかちの食の絆促進事業）」の実施</p>							
<p>①②③④⑤ ⇒ H25からの地域重点プロジェクト：「『観光ネットワーク』とかちプロジェクト」で推進</p>							
【地域で考える目標の状況】							
項目	H19 (基準年)	H20	H21	H22	H23	H24 (実績)	H24 (目標)
観光入込客数(万人)	899	874	900	903	914	963	1,000
愛食レストランの登録数(店)	11	18	24	39	39	46	50
グリーンツーリズム 関連施設数(施設)	173	179	193	219	225	269	230

■美しくエコな とかちづくりプロジェクト

【推進エリア：十勝連携地域】

【主な取組実績】							
<ul style="list-style-type: none"> ○回収した廃食用油からBDFを精製し、路線バスや公用車で使用（H20～H24） ○バイオマスの利活用促進に向け、十勝エネルギー特区推進協議会による構造改革特区提案の実施（H21） ○「もっとエコなとかちづくり」の促進（エコドライブの普及、エコサイクリングの実施、ガイアナイトの実施による普及啓発、とかちエコマップの作成、不法投棄やめさせ隊の活動）（H21～H24） ○「「エコなとかち」加速・発信事業」の実施（H23～H24） ○「地域材を活用したとかち型エコ住宅」普及促進事業（H23～H24） 							
【主な成果】							
<ul style="list-style-type: none"> ○振興局公用車におけるバイオマス燃料利用（BDF5%：5台、バイオエタノール3%：2台） ○各種啓発活動を通じて、地域住民のエコに対する意識が向上（エコサイクリングツアー2回、54人参加、H21レジ袋辞退率 83.7%、エコドライバーズ宣言H24末 1万5千人） ○森林資源の適切な管理を目的とした計画を策定し、道と市町村が連携することで、資源循環型の森林づくりに向けた取組が進展 							
【今後の取組方向（主なもの）】（H25～）							
<ul style="list-style-type: none"> ①北方型住宅フェアの開催、ペレットストーブの展示等 ②再生可能エネルギー等の普及啓発、関連施策の活用促進 ③「もっとエコなとかちづくり」の推進（エコドライバーズ宣言加入、エコツアーなど） ④自然体験学習会の実施、森林環境教育の推進 							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ①②③④ ⇒ H25からの地域重点プロジェクト：『環境フロンティア』とかちプロジェクトで推進 </div>							
【地域で考える目標の状況】							
項 目	H19 (基準年)	H20	H21	H22	H23	H24 (実績)	H24 (目標年)
レジ袋辞退率 (%)	18.5%	49.2%	83.7%	-	-	-	80.0%
エコドライブによるCO2削減量 (tCO2/年)	-	-	2,359 tCO2/年	2,730 tCO2/年	2,792 tCO2/年	3,132 tCO2/年	3,900 tCO2/年
廃食用油の回収量 (千リットル)	53千ℓ	92千ℓ	131千ℓ	140千ℓ	139千ℓ	142千ℓ	150千ℓ
森林造成による炭素貯蔵量 (万t-C)	9万t-C	9万t-C	9万t-C	10万t-C	11万t-C	11万t-C	13万t-C